

令和5年度 学校関係者評価書

令和6年3月7日
春日部市立江戸川小中学校

1 本年度の学校経営の重点

<p>(1) 確かな学力の向上</p> <p>① 各グレードの指導指針を次の通り設定する。 ジュニア:徹底して鍛え教える ミドル:意欲的に学ばせる ハイ:主体的に学ぶ</p> <p>② 授業のねらいを明確化にし、児童生徒に明示する。</p> <p>③ 9年の系統性や連続性を踏まえた指導計画を作成し活用する。</p> <p>④ 教材や指導方法等に関する組織的な研究を推進し授業改善を促進する。</p> <p>⑤ 次の事項を授業力向上の重点事項とする。 ● Chromebookの効果的な活用 ● 協働的な学習形態の積極的な導入と活動 ● 導入課題(問題)の吟味 ● 相互授業参観期間の設定 ● 各種学力調査結果の分析と指導方法の工夫への活用</p> <p>⑥ 発達の段階に即した「家庭学習の手引き」の作成と活用によって家庭学習の習慣化を図る。</p> <p>(2) 豊かな心の醸成</p> <p>① 積極的な生徒指導とプッシュ型の家庭との連携によって、児童生徒の心地よい居場所づくりに注力する。</p> <p>② 児童生徒に対する「見守り」「ことば掛け(励まし・称賛・承認・受容・助言)」の充実を図る。</p> <p>③ 児童生徒の道徳的実践力の向上を目指して、特に次の点に留意した道徳教育に取り組む。 ● 全教育活動を通じた一人ひとりを大切にした授業 ● 教材の吟味や開発と議論する道徳を実現する協働的な指導による授業づくりの実践</p> <p>④ 夢を育む豊かな体験的な学習活動の充実のために次に取り組む。 ● 地域のよさや魅力を理解し、伝統行事に積極的に参加してそれを継承しようとする態度と実践力の涵養 ● 人としての優しさを醸成するボランティア活動の奨励</p> <p>⑤ 自身の適性を知り、夢を抱き実現を目指そうとする生き方に気付く多様な体験的な学習活動の整備</p> <p>(3) たくましく生きる体力の向上</p> <p>① 新型コロナウイルス感染予防対策の徹底を図る。</p> <p>② 体育的な諸活動の適切な質と量を担保する。</p> <p>③ 外部専門機関との連携によって、前期課程水泳指導の充実を図る。</p> <p>④ 部活動の質的な充実を目指す。</p> <p>(4) 家庭・地域と学校の協働</p> <p>① 学校運営協議会の機能を生かした学校運営を目指す。</p> <p>② 適時適切な保護者との連携を実践する。</p> <p>③ 適時性のある情報発信や情報提供をHPや配信メールによって実現する。</p> <p>④ 各種アンケートの実施等によって学校に対する保護者の期待についての把握に努める。</p> <p>⑤ 学校運営協議会、学校後援会、及びPTA等の各組織のネットワーク化を図り、次の事項に焦点を当てて教育課程[社会に開かれた教育課程]の充実を促進する。 ● 地域の伝統・歴史(祭礼・史跡) ● 地域人材(教育力)</p> <p>⑥ スクールバス運行に係る関係課所、子供の安全を守る会、及びPATと確実な連携と調整を図って児童生徒の安全を確保する。</p> <p>⑦ 学校評価及び学校関係者評価の各結果を反映した学校運営上の改善を促進する。</p>

2 学校評価結果に対する学校関係者評価

1...C 2~3...B 4~5...A

領域	評価項目	学校評価			学校関係者評価 [学校評価と改善策への評価]
		達成状況	領域評価	来年度の改善の重点	
確かな学力の育成	学習内容が身につく授業を実践している。	A	A	(1) ICTの活用 ・一人一台学習用端末の活用方法について充実させていく。 (2) 読書活動の推進 ・図書を活用した活動の充実を更に推進する。 (3) 学びの系統性を重視した授業改善 ・9年間の学びを連続的、系統的に展開する授業改善を進めて行く。	A
	児童生徒がわかるまで・できるまで丁寧に指導をしている。	A			
	問題解決的な学習となる授業を実践している。	A			
	授業にICT機器を効果的に取り入れている。	A			
	児童生徒が進んで読書できるように方策を講じている。	B			
	家庭学習が充実できるように方策を講じている。	A			
	学校関係者評価者による意見 ・ICTが進中で、本から離れることが多い現在、本に戻るには、また、本を必要とする時を作るにはどうしたらよいか。 ・学力の様子が保護者に見えてこない、あまりあがらないのかな。保護者の評価が低かったのかな。頑張った正当児童には、学校から氷晶雨してもよいのでは。				
豊かな心を育てる教育	自他を大切にすることを児童生徒を育成に努めている。	A	A	(1) 寄り添う支援の推進 ・子供や保護者のことばに耳を傾け、寄り添った支援を組織的に進める。 (2) 「悩み事」「進路や将来の生き方」への指導 ・アンケート調査等を活用して早期発見し、早期対応に向けて教員全体で情報を共有し、より最適な支援を講じる。 (3) 友だちとのトラブルの解消 ・生徒指導委員会、教育相談委員会を更に機能させる。 (4) 特別支援学級との連携 ・児童生徒の個別の教育的ニーズに応じた支援方法の共有を図る。	A
	人権意識を高める指導をしている。	A			
	命の大切さや社会のルールについてくり返し指導している。	A			
	児童生徒一人一人の心に寄り添い、悩みごと等への相談を適切に行っている。	B			
	キャリア教育について、それぞれの段階に応じて計画的に指導している。	A			
学校関係者評価者による意見 ・多様な考え方ができる、受け入れられる心を育てたいですね。 ・3割近くの子供たちがマイナス意見に回答とありますが、どのようなことだったのか。子供たち同士で話し合いをしてもダメなら、五年生以上の学年の人、先生が関わる。					
健やかな体の育成	体育の授業や部活動等を充実させ、児童生徒の体力向上に努めている。	A	A	(1) 体力向上を目指した活動の推進 ・すくすくプログラム、ラジオ体操、なわとびの活動の改善点を修正して実施する。 (2) 保健指導の充実 ・感染症予防や傷病の予防に関して、発達の段階に応じた内容を取り扱いながら指導を継続し、実践する。 (3) 食育の推進 ・栄養教諭や家庭科教諭を中心に指導の充実を推進する。 ・食育授業の工夫・改善を行う。	A
	発達段階に応じて計画的に保健指導を行っている。	A			
	発達段階に応じて計画的に食育指導を行なっている	A			
	災害や事故への危機意識をもって安全指導や避難訓練等を行っている。	A			
	日常の安全点検を心がけ、安全な環境を整えている。	A			
	学校関係者評価者による意見 ・一層の体力向上を。 ・長期休みは、親も関われるので、よいと思います。(すくすくプログラムなど)				
家庭・地域との連携	保護者や地域人材、地域資源を取り入れた学習活動を実施している。	A	A	(1) 学校運営協議会の発展 (2) 学校保健委員会の場の活用 (3) ホームページ、コミュニティ・スクール通信、学校だより等による情報発信の充実 (4) オンライン形式による授業や行事の効果的な実践 (5) 異学年交流や学習の実施方法の工夫と充実	A
	保護者や地域の方が参観・参加できる機会を計画的に設定している。	A			
	異学年交流などの義務教育学校の特色を生かした指導を実践している。	A			
	学級だより等により、児童生徒のようすを家庭(や地域)へ発信している。	A			
	学校関係者評価者による意見(何かございましたらご記入ください) ・コロナが落ち着いてきたので、誰でも授業を見ることのできる学校開放日があればよいと思う。 ・できれば学校だよりの文字を少し大きめにしてもらえるとよい。				